



あかまつ

令和4年度

第27号

令和4年8月22日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

前期後半のスタート!!

33日間の夏休みが終わり、今日から前期後半が始まります。夏休み前半はうだるような暑さ、後半は早くやんでくれと思うような大雨でしたが、よい体調を保ち、元気に登校してきた子どもたちの笑顔に本当にうれしい気持ちでいっぱいです。約1か月ぶりに会った子どもたちは体が一回り大きくなり、少し日焼けした表情から心の成長も感じられました。一人一人が「夏に鍛える」ことができたことと思います。

また、行動制限のない夏休みではありましたが、連日のようにここ秋田県も1000人を超える感染者数の報道があり、感染防止に気を遣う毎日でもありました。健康管理・安全管理に気を付けて、本日、ご家庭の皆様が、「しっかり頑張ってくるんだよ。車に気を付けて。」と、我が子を応援して登校させてくれたものと思います。本当にありがとうございます。

前期後半のスタートにあたり、全校集会では次のような話をしました。

【ほんの少しでも毎日、毎日続ける～「一粒の米」～】

江戸時代に新井白石という偉い学者がいました。6代将軍徳川家宣を助けて幕府の政治を動かす大事な仕事をした人です。

ですが、この白石も子どもの頃から偉かったわけではなくて、朝から晩まで遊びに夢中であまり勉強しませんでした。そんな白石を見て、お父さんはこんな話をして諭しました。



「ここに米びつがある。一日一粒ずつとってこちらの米びつに移したとしよう。10日や20日続けてとっても米が減ったとか増えたとかはあまり分からないが、1年か2年続けたら必ずや増えたことが分かるだろう。勉強や稽古も同じだ。1日だけ勉強したり練習したりしても、すぐに利口になったり上手になったりするわけではない。一日怠けたからといって、次の日すぐできなくなったり下手になったりするわけでもない。けれども、毎日毎日ほんの少しずつでも努力を続けると、1年後、2年後には驚くほど上達したことが分かる。反対に毎日怠けていると、気が付かないうちに体の筋肉は落ち、頭の中は空っぽになって取り返しの付かないことになってしまうだろう。」

それからというもの、白石は勉強と稽古に励み、幕府を動かすほどの偉い人になったということです。

面倒だなと思ってつい怠けたくなる時があるものです。そんなとき、この「一粒の米」の話を思い出してがんばってほしいと思います。

9月・10月・11月と勉強に運動に最適の季節です。うんとかんばって、心と体、頭を鍛える子どもたちの姿を期待しています。



夏休み明け集会

今日行われた夏休み明け集会では、校長の話の他に、「夏休みの思い出発表」を南っこグループで発表しました。このご時世ですのでマスクは外せませんでした。マスク越しからも久しぶりに会ったうれしさや、楽しかった夏休みの思い出が伝わってきました。

夏ならではのプールやバーベキュー、もちろん大人と一緒に出かけた川遊びや海、ザ・ブーンやショッピングセンター、いところ遊んだこと、花火等々、どれもこれもが子どもたちのこの夏の経験であり、財産です。



感謝・感謝

★夏休み中のプール監視は職員の他に地域の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんにご協力いただきました。お陰様で、安全にプール開放を行うことができました。

★8月11日（木）早朝の草取り作業にご協力いただいた祖父母の皆様、保護者の皆様、そして子どもたち、ありがとうございました。たくさんの方々のご協力のおかげで、雨模様でしたが広い花壇を一斉に除草することができました。余計な雑草が取られ、花の色も鮮やかになりました。



保護者面談

ありがとうございました

7月末に保護者面談がありました。また、担任の都合により日程を変えてくださった3年部の皆様におかれましては、素早いご対応本当にありがとうございました。各担任から、これまでの学習や生活についてお話があったことと思います。今後もお子さんのよりよい成長のため、ご支援、ご協力をお願いします。

おめでとう!

令和4年度 第63回全県児童生徒席書大会 大曲仙北大会

(敬称略)

硬筆の部

金賞 1年

2年

銀賞 1年

2年

半紙の部

金賞 5年

6年

銀賞 6年

条幅の部

銅賞 6年

